

[条例施行規則64条関係 (500 t 以上1000 t 未満排出事業者用)]

(様式第33号) (第64条関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年6月30日

(宛先) 長野市長 荻原 健司 様

提出者

住 所 長野県長野市平林一丁目36番3号

氏 名 大和ハウス工業株式会社 長野支店

支店長 錦織 隆幸

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-243-5432

産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画について、長野市廃棄物の適正な処理の確保に関する条例第79条第1項の規定により提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 長野支店
事業場の所在地	長野市平林一丁目36番3号
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	39,866百万
③ 従業員数	135名
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	廃プラスチック：処分委託(焼却・破砕)⇒埋立処分・リサイクル 金属：処分委託(切断)⇒埋立処分・リサイクル ガラス・陶磁器：処分委託(破砕)埋立処分・リサイクル がれき：処分委託(破砕)埋立処分・リサイクル 紙くず：委託処分(焼却・破砕)⇒埋立処分・リサイクル 木くず・委託処分(焼却・破砕)⇒埋立処分・リサイクル 繊維くず：委託処分(焼却・破砕)埋立処分・リサイクル

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙3の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	紙くず	木くず
	排 出 量	74.47t	87.40t	79.11t	275.24t	42.93t	117.07t
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	紙くず	木くず
	排 出 量	66.60t	78.30t	71.10t	247.50t	37.80t	105.30t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理)	石綿含有産業廃 棄物			
	排 出 量	0.21t	51.50t	1.44t			
<p>(これまでに実施した取組) 排出量抑制のために、建設副産物の抑制と再資源化の強化。瓦、ボード等を施工前に高精度の割付でプレカットする。</p>							
<p>(今後実施する予定の取組) 前年度同様、施工現場での副産物の発生抑制と再資源化促進への取組。施工前のプレカットの実施。</p>							

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場担当者が、事業所廃棄物管理責任者から指示された分別基準に従い分別を行う。また現場ごとに分別区分や種類、方法を作業者に周知し内容を掲示する。</p>
②計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年度同様、事業所・現場共廃棄物管理を適正に行う為に、事業所廃棄物責任者が、環境・品質パトロールの強化やリスクコンプライアンス診断、解体工事の知識向上のための教育を実施する。</p>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アス)	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	20.91t	1.75t	7.69t	14.74t	1.80t	20.22t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管理)	石棉含有産業廃棄物			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
(これまでに実施した取組) 廃棄物を19品目に分類し、排出1回に対し重量集計台帳を必ず記入し、1袋13キログラム以下として分別を徹底する。							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アス)	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	18.00t	1.00t	6.30t	12.60t	1.00t	2.00t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管理)	石棉含有産業廃棄物			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組) 昨年度同様取組を継続して行い、再利用できる物の分別指導を徹底し、再利用率の向上を目指す。							

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アス)	紙くず	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管理)	石棉含有産業廃棄物			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量							
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量							
(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アス)	紙くず	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管理)	石棉含有産業廃棄物			
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量							
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量							
(今後実施する予定の取組)							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アス)	紙くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理)	石綿含有産業廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)						
※※※※※							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アス)	紙くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理)	石綿含有産業廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)						
※※※※※							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡スチロール含)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	紙くず	木くず
	全処理委託量	53.56t	85.65t	71.42t	260.50t	41.13t	96.85t
	優良認定処理業者への処理委託量	53.56t	85.65t	56.68t	244.20t	41.13t	93.85t
	再生利用業者への処理委託量	53.56t	85.65t	49.19t	274.72t	41.13t	96.85t
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)	石綿含有産業廃棄物			
	全処理委託量	0.21t	51.50t	1.44t			
	優良認定処理業者への処理委託量	0.21t	51.50t				
	再生利用業者への処理委託量	0.21t					
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	(これまでに実施した取組) 委託締結した廃棄物処理業者と情報交換を行うため、協力関係を構築し連携を深める。また、現地調査を行い、書類の管理状況や施設管理状況を確認する。						

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず (石膏ボード等)	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	紙くず	木くず
	全処理委託量	48.60t	77.30t	64.80t	234.90t	36.80t	103.30t
	優良認定処理業者への処理委託量	47.70t	76.50t	50.40t	220.00t	36.90t	83.70t
	再生利用業者への処理委託量	47.70t	76.50t	44.10t	200.00t	36.90t	86.40t
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)	石棉含有産業廃棄物			
	全処理委託量	0.18t	45.90t	0.90t			
	優良認定処理業者への処理委託量	0.10t	45.90t				
	再生利用業者への処理委託量	0.10t					
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	(今後実施する予定の取組) 半年に1回、リサイクル率向上につながる処理系統を見直し、解体工事の作業手順等随時確認作業を行う。						
	※事務処理欄						

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類												
		廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード)	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト)	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	石綿含有産業廃棄物			合 計	
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	74.47t	87.40t	79.11t	275.24t	42.93t	117.07t	0.21t	51.50t	1.44t			729.37t	
	本年度排出量(計画)	66.60t	78.30t	71.10t	247.50t	37.80t	105.30t	0.18t	45.90t	0.90t			653.58t	
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績	20.91t	1.75t	7.69t	14.74t	1.80t	20.22t						67.11t	
	本年度計画(目標)	18.00t	1.00t	6.30t	12.60t	1.00t	2.00t						40.90t	
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	53.56t	85.65t	71.42t	260.50t	41.13t	96.85t	0.21t	51.50t	1.44t			662.26t
		本年度計画(目標)	48.60t	77.30t	64.80t	234.90t	36.80t	103.30t	0.18t	45.90t	0.90t			612.68t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	53.56t	85.65t	56.68t	244.20t	41.13t	93.85t	0.21t	51.50t				626.78t
		本年度計画(目標)	47.70t	76.50t	50.40t	220.00t	36.90t	83.70t	0.10t	45.90t				561.20t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	53.56t	85.65t	49.19t	274.72t	41.13t	96.85t	0.21t					601.31t
		本年度計画(目標)	47.70t	76.50t	44.10t	200.00t	36.90t	86.40t	0.10t					491.70t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												

【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・ 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。